

お宝ページ

だけの方、お子さんのス
話題を募集しています!
課まで。

だいぶ春らしい陽気になってきました。7年に1度の御柱祭まであと1か月です。楽しみですね。お祭りの準備は進んでいますか。ちょっと一休みして広報を読んでクイズにも答えてね。

あなたに 挑戦! No.220

広報クイズ

◎前回の答え(2/1)と当選者

問1-③約8割 問2-②脂質
問3-①基本条例

正解総数26通(応募総数30通)の中から抽選で、杉山八重子さん(堀ノ内1)、武井英幸さん(堀ノ内2)、藤森芳さん(長地御所2)、今井千恵さん(長地権現町3)、山岡弘明さん(加茂町2)に記念品をお送りします。

問1 まちなかの賑わい創出「中心市街地商業等活性化総合支援事業」の『商人堂』は3月何日オープン?

答え ①13日 ②14日 ③15日

問2 岡谷中心市街地の商店街でおかいものスタンプラリー参加店の目印ののぼりは?

答え ①ちょっとまちなか探見隊
②きちっとまちなか探見隊
③歩楽っとまちなか探見隊

問3 お引っ越しサービスコーナーの開設は3月22日から何日まで?

答え ①29日 ②30日 ③31日

ヒント…特集を読むと…。

◆広報クイズ応募方法

はがきに、答えの番号、住所、氏名、年齢、電話番号をお書きになり、広報クイズ係《〒394-8510 岡谷市役所(住所不要)》まで。3月20日の消印まで有効。ひと言書きそえてくださるとうれしいです。(ひと言は15日号の「みんなの声」のコーナーへ掲載させていただく場合があります)

市民しポーター だより

小平陽子さんの
ArtなOkayaレポート ②

いよいよ3月20日・21日にオペラ『御柱』の公演が迫りました。事前にストーリーを知ってもらいたいと、カノラホールからマンガ小冊子が刊行されています。このマンガを描いた山岡さんは、マンガ家さんと思いきや、実は市の都市計画課にお勤めです。CGも駆使してあり、プロ並みの腕前。オペラでは、男女の恋愛がテーマになることが多いのですが、例にもれず、このオペラ『御柱』も古代の神々が感情のもつれを繰り広げます。山岡さんが苦労したのは、この大作を予算の都合でたった16ページにまとめること。そこで、あえて悪役である「クサミチ」の視点で描くことに。山岡さん曰く、「物語には悪役が必要ですが、本当に悪い人っていないものです。一人一人の感情のズレがその人を悪に走らせてしまうのです。」

主役は諏訪大社に祭られている「ミナカタ」ですが、「クサミチ」を描くことで、悲劇に至るまでの流れが分かりやすく展開されています。また、たった一コマのギャグでストーリーを圧縮して表現するという技?も使っています。「それにしてもこの絵のタッチはサイボーグ009を思い出しますが…」と言うと、「ばれましたか?」と。山岡さんは、石ノ森章太郎先生のファンで、作品を研究するホームページも作っていました。山岡さんは、オペラ『御柱』の舞台裏にも関わっているようで、様子を伺いました。「大勢の出演者の方々が指揮者の腕によって、ピッと引き締まり、よりすばらしい声が引き出されていく様子は感動的!だそうです。衣装ボランティアの方々も含め200人以上が創り上げるオペラ『御柱』。ヨーロッパへも通用するとの評もあるとか。「この金額でこれだけの作品が見られるなんてお得ですよ。」とのこと。今からチケットを買いに行きましょう。「オペラ『御柱』コミック」ももらえるそうです。(数に限りがあるのでお早めに!)



マンガの オペラ『御柱』



市民レポーター
小平陽子さん
こだいらようこ



マンガ作者
山岡泰一郎さん
やまおかたいちろう



人に良い影響を与えられる 教員になりたい

たか はし やす ひろ
高橋 康弘 さん

(神明町1)

Q 子どもたちと一緒にいろいろなことを学んで遊べて楽しいです。この授業はこの教え方をしてみようとか考

Q やりがいは？

長野県の教員になりたいと思いました。

Q 初めての教え子の卒業に

言？

2年間楽しく過ごして、元気のいい素直なみんなとともに学べたことが幸せでした。ありがとうございます！

Q なぜ教員になろうと？

一つは、自分自身いい先生に恵まれて、そういう先生を目指したいと思いました。

Q 将来の夢は？

これからずっと子どもたちとともに学び、人に良い影響を与えられる教員になりたいです。

Q 出身はどこ？

徳島県です。信州大学の教育学部で学んで、長野県の教員試験を受けて、3度目の正直で合格しました。

Q 休日は何してる？

釣りが好きなのでよく行きます。こちらに来て初めて諏訪湖でわかさぎ釣りをしましたが、たくさん釣れて楽しいですね。

Q 神明小学校6年2組の担任

をしている高橋康弘さん。

えたり、子どもたちも言うことをよくきいてくれ、いい反応してくれるのでやりがいがあります。

オラ ア トドス Olá a todos! 国際交流員のモリハラ・ダイスケです No.7

“上智大学留学生来岡”

先月、岡谷市内のいくつかの小学校では、面白い行事がありました。2月12日～14日にかけて、上智大学から4人の学生が、神明小、小井川小、長地小、岡谷小を訪れたのです。学生はパキスタン、台湾、フランス、アメリカからの留学生でした。彼らはそれぞれの国のことを紹介し、日本の文化を児童たちから習いました。

パキスタン出身のアリさんは3年生の児童一人一人にウルドゥー語で名前を書いてあげました。台湾出身のリウさんは中国のお正月について話し、フランス出身のレミさんはクレープを作り、アメリカ出身のブリアンさんはヴァレンタインデーのカードの紹介をしました。



アリさん ブリアンさん レミさん リウさん

4人は、児童のみなさんに理解して楽しんでもらえるように、それぞれ工夫をしてきました。全員が在日5か月以下の

学生ですが、日本語で説明ができるようにしっかり準備をしてきました。彼らの熱心さと礼儀正しさに、児童のみなさんは喜んでくれたと思います。

最終日の朝、学生たちはカノラホールの前でホストファミリーにお別れをして、市内見学に出かけました。最初の目的地、やまびこスケートの森に到着すると、リウさんの電話が鳴りました。それは彼が訪れた小学校の児童たちで、早速やまびこスケートの森に来て合流することになり、初めてスケート靴を履いたリウさんに、スケートの上手な子どもたちが教えてくれました。

見学の最後、3日間の文化交流を終え、学生たちは岡谷駅へ向かいました。驚いたことに駅には、朝お別れを告げたはずのホストファミリーが最後の最後のお別れを言うために待っていてくれたのです。留学生4人も、すばらしい児童たちや先生、そしてホストファミリーに出会えてとてもうれしかったと口々に言ってくれました。

